

高い信頼へと繋ぐ 道建協関西・大阪アス合協

日本道路建設業協会関西支部
(松井耕二支部長)と大阪アスフ
アルト合材協会(八田邦裕会長)
は、大阪市のエルおおさかで20
25年度安全大会を開いた。関係
者ら約140人が参加し、労働災
害の撲滅を誓った。

松井支部長は「この大会は、多



くの関係者が一堂に会し、安全水
準の向上に努めることを誓い、安
全意識の高揚を図る極めて大切な
機会だ。誰一人けがをすることな
く、アスファルト合材を製造し、
工事を完成させることにより、企
業として、建設業全体として社会
的な高い信頼へとつなげていき
たい」とあいさつした。

表彰式に続き、道建協関西の松
嶋徹安全環境委員会委員長と大阪
アスファルト合材協会の淵澤淳
労働安全環境部会部長が安全宣言
を読み上げた。

その後、大阪中央労働基準監督
署の今津和也労働衛生専門官が安
全講話した。

第二部では近畿地方整備局の藤
田晶久企画部総括技術検査官が
「近畿地方整備局における働き方
改革の取り組みと安全対策につい
て」と題して講演した。

第三部では大阪ガスネットワー
ク大阪事業部保全チーム他工事グ
ループの富山慶二氏が「建設現場
でのガス導管の事故防止」につい
て、日本DFWALK協会代表の
山口マユウ氏が「転倒・墜落予防
のための正しい姿勢・歩き方」に
ついて、それぞれ講習した。

(10・16)

